

「学びあう集団づくり」部会 (豊かな心の育成)

言語活動を活性化し、学びあう環境づくりをはぐくむ指導の工夫
～集団づくりのスキルの活用を通して～



テーマ設定理由

確かな学力

学ぶ意欲の高まり

良好な学級・学習集団



ライフスキル教育
(ライオンズクエスト)

ハイパー
Q-Uアンケート
で集団の分析

研究の重点

ハイパーQ-Uアンケートの 分析と活用推進

ハイパーQ-Uアンケートの実施

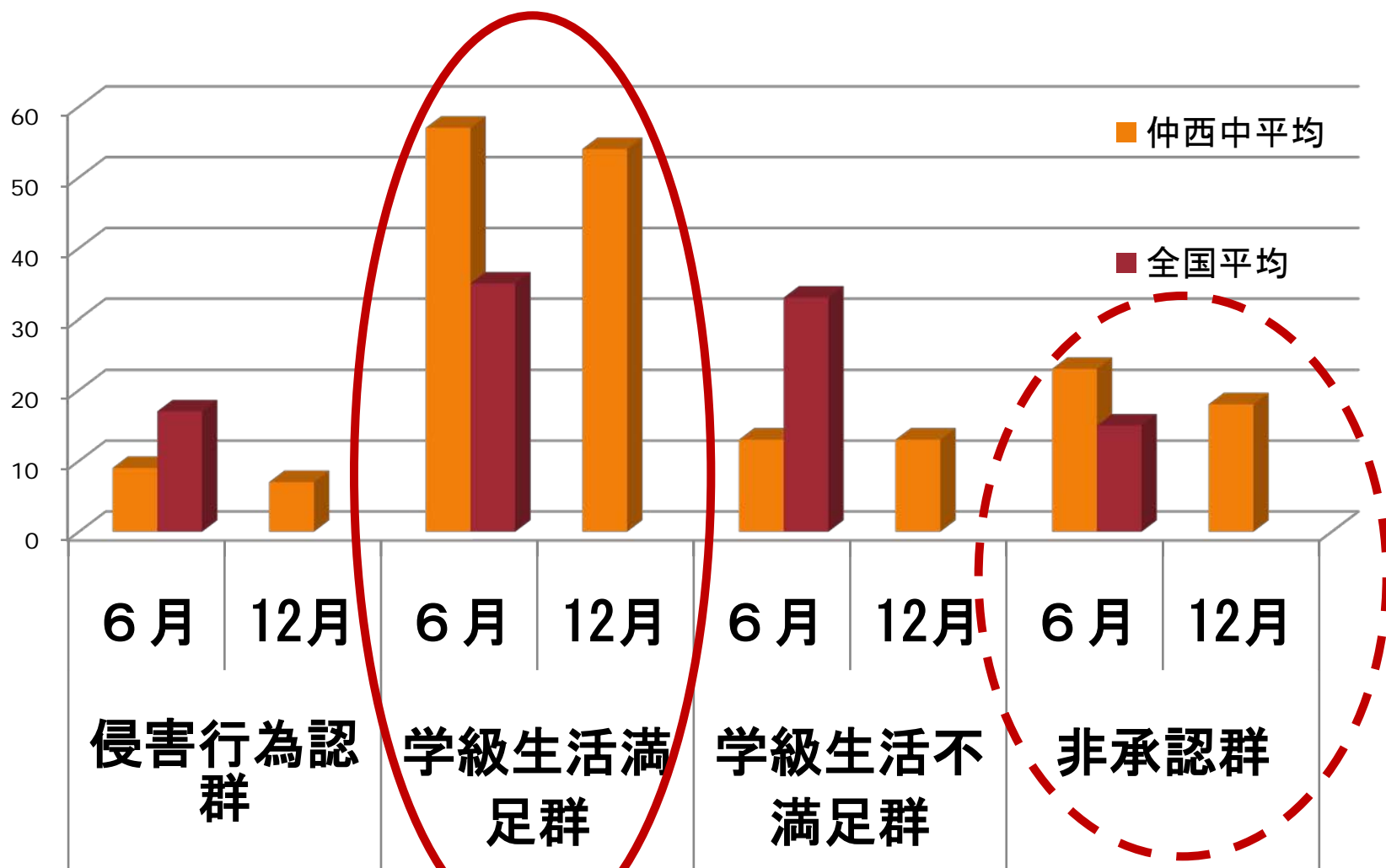
第1回目 6月1日

第2回目 11月17日

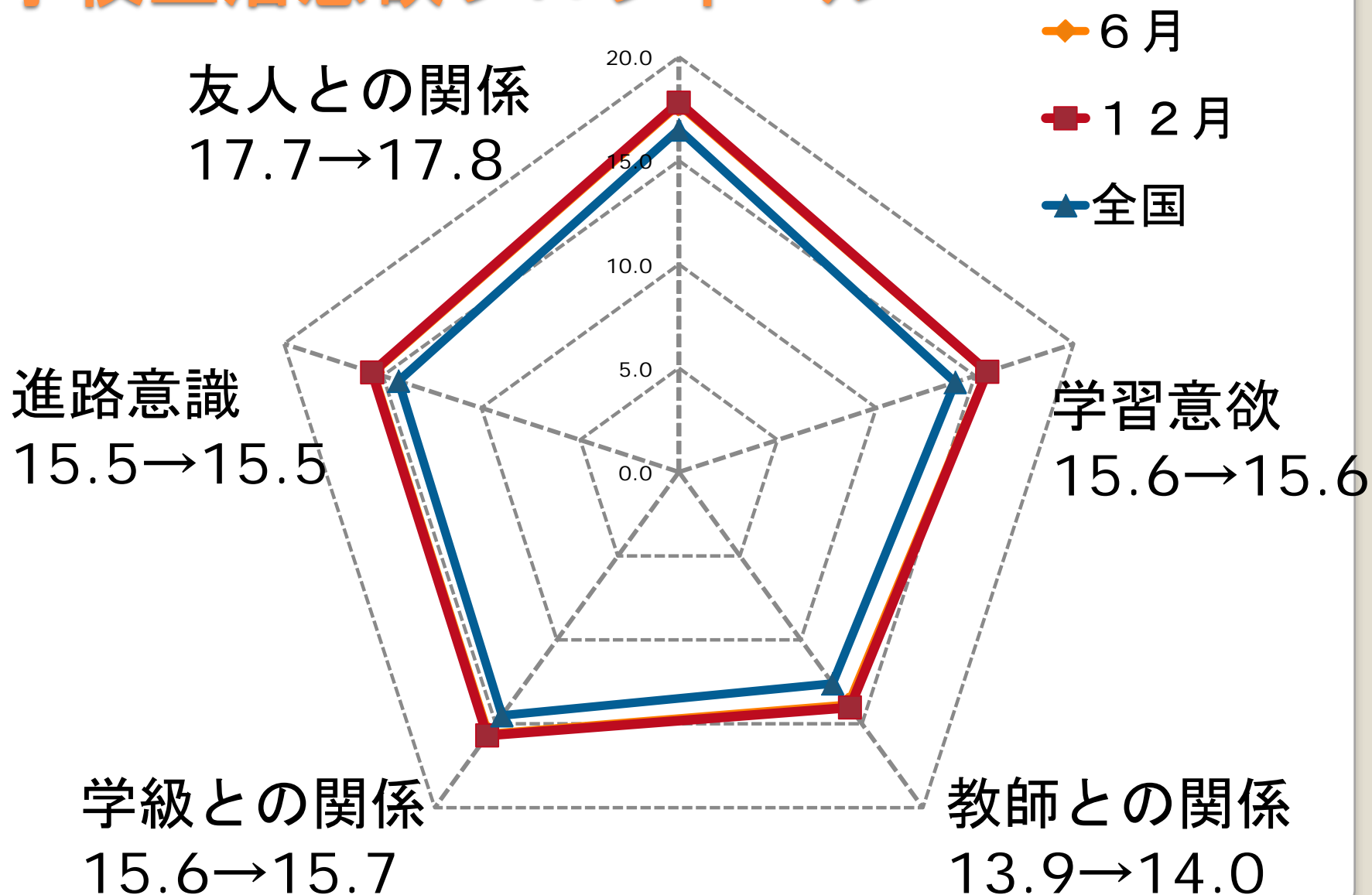
※朝の読書時間を利用（3日間）

※全27クラスで実施（特別支援学級を含む）

学級満足度尺度



学校生活意欲プロフィール



質問項目から

学校生活意欲尺度

- ①学校内にいろいろな活動に誘ってくれる友人がいない
- ②気軽によく話ができる教師がいない
- ③人と仲良くする方法がわからない

学級満足度尺度

- ①クラス内で存在感が感じられない
- ②みんなから注目される体験がない
- ③休み時間など一人でいることが多い

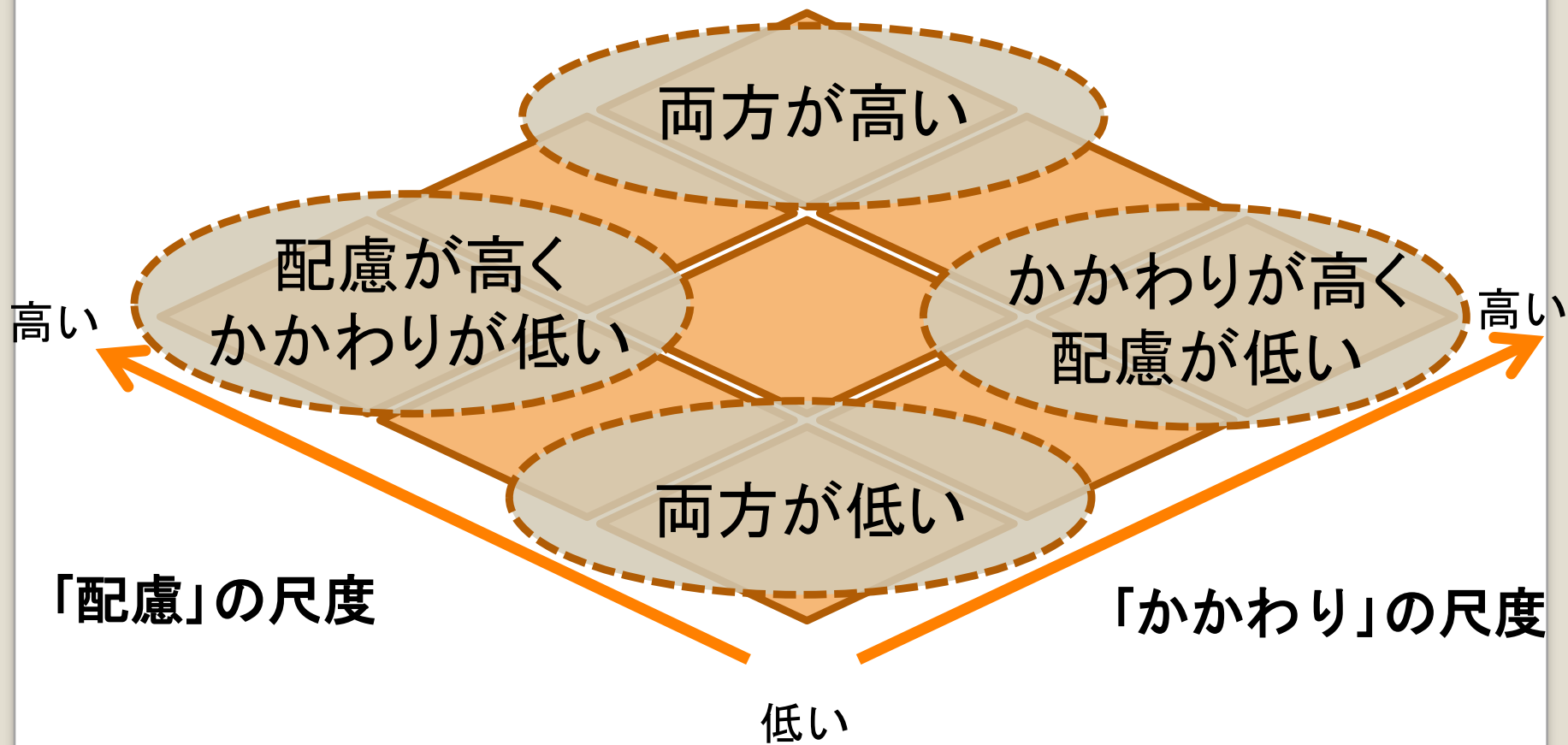
Q-Uアンケートから見える本校生徒の特徴

- ①自分自身に自信がない
- ②人間関係の作り方が苦手
- ③心を許して話せる友人や教師の存在が少ない



- ①生徒たちに自信と自己肯定感をもたせる体験
- ②教師との関係づくり
- ③人間関係づくりのスキル学習

ソーシャルスキル座標位置



ソーシャルスキル座標位置 (3年)

106人→127人



高い

高い

「配慮」の尺度

「かかわり」の尺度

低い

19人→13人



ハイパーQ-Uアンケート

に関する職員の声

平成23年11月実施

ハイパーQ-Uアンケートの結果から初めて気づいたことは？

- ①クラス内での生徒の立ち位置と様子
- ②学級全体のタイプ
- ③担任との距離
- ④普通児に見えた生徒の思いがけない悩み
- ⑤周りとの関わりに支援が必要な生徒
- ⑥要支援群にいた予想外の生徒

実践事例（学級や個人への手だて）

- ① 班活動を増やす（道徳、特別活動）
- ② 1分間スピーチ
- ③ 学級恒例行事
- ④ 学級通信の発行
- ⑤ 家庭学習帳へのコメント
- ⑥ ソーシャルスキルトレーニング

成果と課題

成 果

- ①学級や学年の生徒集団の状況を把握し、必要な対策ができた。
- ②学校生活満足群の割合が高く、学級や各学年の取り組みが評価できる。
- ③結果を分析し、生徒集団の問題を把握し対策を講じようとする職員の意識が高まった。

成果と課題

課題

- ①結果の活用方法の追求。
- ②結果データの共有化。
- ③教科や領域と連携した手立てを講じる。



